

研究の全体構造図

学校教育目標・学校課題

私たちは未来へと進む緑小のこども
心豊かな子どもを育み 確かな学力を身につける

今日的課題

コミュニケーション能力の向上
段階的・系統的な教育課程の創造

目指す子ども像

既習経験をもとにじっくり考え、のびのびと表現できる子
考えや文化の違いを理解し合い、自他を尊重する優しさのある子
学びへの意志と意欲を持ち、互いに学び高め合える子

本校の研究の経緯

基礎・基本をもとにした表現活動
異文化理解教育実践の積み上げ

児童の実態と教師の願い

話をしっかりと聞く力の定着
コミュニケーションの大切さ

研究主題

すすんで聞こう、話そうとする児童の育成

～コミュニケーションを豊かにする外国語活動のあり方～

研究仮説

外国の文化や生活に即して体験的に学ぶことによって、外国語に親しみを持ち、すすんで活動しようとする、コミュニケーションの力を持った児童が育成されるのではないか。

具体仮説

仮説1

日常の具体的生活体験に即した教材を提示することにより、外国語に親しみや関心を持ち、すすんで聞こうとしたり、話そうとしたりする意識が高まるのではないか。(高学年)

仮説2

外国語の歌や詩の暗唱・遊びなど発達段階に応じた学習活動を配列することにより、表現力が上がり、外国語に親しみ、抵抗なく話そうとする姿勢が身につくのではないか。(低・中学年)

仮説3

読み聞かせやアニメーションなどの読書活動と外国語活動とを結びつけることによって、すすんで外国語活動に参加しようとする姿勢が育成されるのではないか。(低学年)

研究内容

09年度

多様な文化への関心を高める教材開発

10年度

段階的・系統的な外国語活動の単元構成および配列

両年度

すすんで聞こう・話そうとする意欲を育てる学習活動

研究方法

- ◆ 3ブロック制による授業公開および各学年の実践記録を通して実践を集積する。
- ◆ 外国語活動に関する研修会への参加・還流、多様な実技・理論研修を実施する。
- ◆ 教務係と連携し、教育課程の柔軟な運用、および改善を図る。